

「ワッショイ!! ワッショイ!!」の掛け声も勇ましい町内のみこまつりパレード



奈良津堤一帯での桜まつりには、美しく咲きほころんだ桜を見に大勢の人たちが訪れられた。

また、十二日に開催予定だった「笠松陣屋市」は、前日からの雨のためあいにく中止となりましたが、同日夜、産霊神社境内で開催された「宵まつり」では、落語やマジックショー、町



笛や太鼓、掛け声とともに練り歩く姿々車(宵まつり)

内のみこしなどの奉納が行われました。

翌十三日には、雨もあがり、笠松春まつりを締めくくるにふさわしい絶好のまつり日和のなか、踊り山車に続いて、町内会自慢の本みこしや花みこしが威勢のいい掛け声とともに町内に練り出されました。クライマックスのまつりパレードは、笠松



華麗な踊りを披露(下本町踊り山車)

清流太鼓のオープニングセレモニーで始まり、町内の保育所や幼稚園の園児、婦人会の皆さんに続いて、総勢約二百人の大名行列お奴が毛槍や鳥毛を投げつけた大勢の観客から盛んな拍手が沸き上がり、まつりムードを一層盛り上げました。



松枝地域の子どもみこし

## 「大名行列お奴」

四月十三日の春まつり「大名行列お奴」に出演した笠松中学校の生徒五十六人が、十四日、同校体育館でお奴の演技を全校生徒の前で披露しました。

これは、郷土の伝統芸能を自分たちの手で守り伝えるために練習を重ねた生徒たちを中心に

## 全校生徒に披露

### 笠松中学校

に、学校とお奴保存会が毎年行う行事です。元気な掛け声とともに毛槍や台傘の投げ渡しが成功すると見学の生徒や先生たちから盛んな拍手が起りました。

また、小川末久大名行列お奴保存会会長が伝統芸能の大切さとお奴への参加を呼びかけました。



古式ゆかしい妙技を披露する笠中生徒